

令和3年9月22日
文 京 区

東京都住宅供給公社が発行するソーシャルボンドの購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、東京都住宅供給公社（以下「同公社」という。）が発行するソーシャルボンド（第41回東京都住宅供給公社債。以下「本債券」という。）を購入しました。

ソーシャルボンドは、調達された資金が社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に充当される債券です。

同公社は、2020年6月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャル・ファイナンス・フレームワークについて、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則」に適合する旨、セカンド・オピニオン（発行者：株式会社格付投資情報センター（R&I））を取得しています。

本債券の発行による調達資金は、同公社が展開するプロジェクトを通じて、少子高齢社会や環境問題への対応、防災性の向上、地域コミュニティの活性化など、東京都が抱える社会的課題の解決に活用されます。また、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標15：陸の豊かさを守ろう」等の達成にも貢献します。

文京区は、引き続き、SDGsの視点を生かして社会的課題の解決に貢献する取組を進め、今後も、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。